

## 【1 分解説】国民医療費とは？

総合調査部 研究理事 谷口 智明

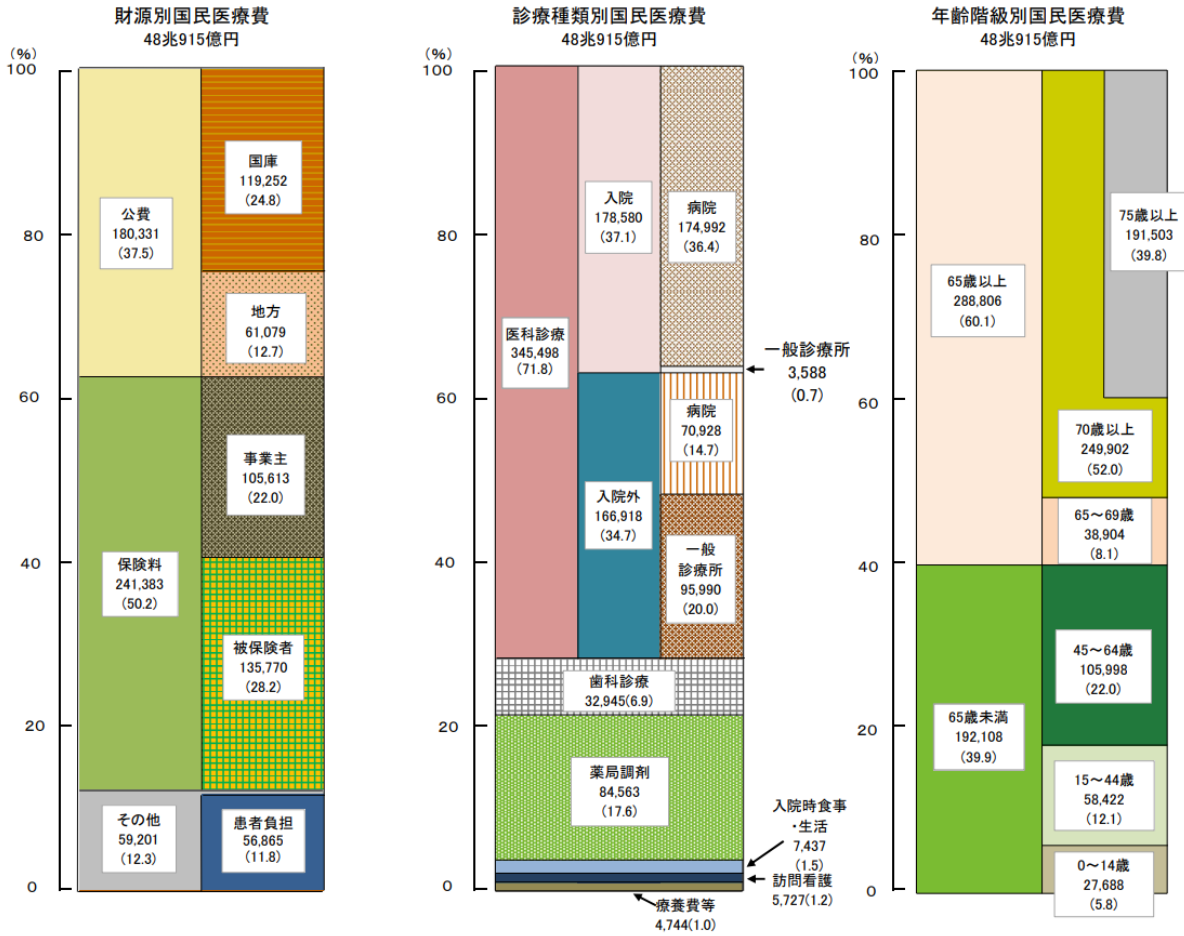
国民医療費とは、医療機関等で保険診療の対象となり得る傷病の治療に要した費用を推計したものです。つまり、私たちの病気やけがの治療にかかった医療費の総額であり、医科・歯科診療費、薬剤費、調剤費、入院中の食事、訪問看護費などが含まれます。一方、正常な妊娠・分娩、健康診断、予防接種、差額ベッド代など、傷病の治療を直接の目的としない費用は含まれません。

国民医療費は増加を続けており、2023年度は約48.1兆円と過去最高を更新しました。「国民医療費の構造」(資料)をみると、財源別、診療種類別、年齢階級別などの切り口で体系的に整理されており、医療費の内訳や増加要因を多面的に把握できます。例えば、財源別では、国・地方の公費(税、国債)、被保険者と事業主が負担する社会保険料、患者の窓口負担等で構成され、概ね公費4：社会保険料5：患者負担1の割合です。年齢階級別では、65歳以上で約6割、75歳以上で見ると約4割を占めています。

今後も高齢化の進展や医療の高度化に加え、医療資材の価格や人件費の上昇により、国民医療費は増加が見込まれます。社会保障審議会医療保険部会では、あるべき将来像を見据えた制度改革について、2025年末を目途に検討が進められています。国民の理解促進と制度の持続可能性確保の観点から、建設的な議論が期待されます。

## 資料 国民医療費の構造 (2023 年度)

[国民医療費総額 48兆915億円、人口一人当たり国民医療費 386,700円]



(注) 括弧なし数値は推計額(単位:億円)、括弧内の数値は構成割合(単位:%)である。  
 (出所) 厚生労働省「令和5(2023)年度国民医療費の概況」より抜粋

### 関連レポート

- ・「国民医療費は過去最高の48兆円超に～医療費の地域差是正の鍵『病床数の適正化』で約2兆円削減も～」(2025年11月) <https://www.dlri.co.jp/report/ld/534226.html>